

会社の 実力

第13回

太陽光発電&蓄電で地域と暮らしをサポート 炭化水素系新自然冷媒ガスで新市場を開拓

グローバル・リンク 株式会社

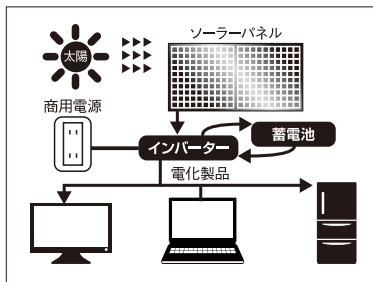
太陽光発電システムや蓄電システムなど、次世代エネルギーによるトータルな



富樫 浩司 社長



ソリューションを提供し、私たちの安心・安全で豊かな暮らしをサポートしているグローバル・リンク株式会社。小型の太陽光発電設備と蓄電池を組み合わせて分散型発電を実現する「G-SOLAR」をはじめ、低価格・高品質な自社開発商品を中心としたリリースし、2



④産業用に建設された太陽光発電設備
⑤「G-SOLAR」のシステムイメージ

011年の創業から右肩上がりの急成長を続けている。12年から再生可能エネルギーの固定価格買取制度（FIT）が始まったことを受けて産業用メガソーラーの市場に参入。遊休地を有効活用したい大手企業のニーズに応えるとともに、

廃校を活用して太陽光発電と農業で町興しを行う地方自治体のプロジェクトにも積極的に参画するなど、地域社会に貢献している。「ソーラーシェアリングとして太陽電池パネルの下で野菜を栽培し、子供向けの自然体験教室も行っています。発電所の保守や点検を

行う人員など、地元の雇用促進にも繋がっています」と話すのは、富樫浩司社長。今春から、自社開発の炭化水素系新自然冷媒ガス「GPOWER」の量産をスタートし、従来の空調関連分野に加え、より高い効果が見込まれる冷蔵冷凍分野への事業拡大を目指す。

「長年の研究が実り、今までに無い新しい自然冷媒ノンフロンガスが遂に完成しました。日本国内だけでなく海外でも特許を申請し、グローバルに普及させていきたいですね」（富樫社長）

特定フロンガス、代替フロンガスに続く、第三のフロンガスと呼ばれる自然冷媒ガスの中でも、ひと際脚光を浴びる炭化水素系自然冷媒ガス。高い省エネ効果や環境保護の側面で優位性を発揮し、空調関連の消費電力を約50%削減できる。

また、冷媒を交換するだけで現行の機器を継続して稼働できる点も「GPOWER」の大きな特徴。冷蔵ショーケースや冷蔵冷凍庫などの機器に冷媒を使用すれば、食品小売業や倉庫業をはじめ、供給先はさらに広がるだろう。

事前に電力コストの削減値を測定し、費用対効果を検証・診断できる「試験導入制度」を活用すれば、本格導入前にリスクを回避することも可能。同社は商品の機能性や特長だけでなく顧客満足度の高いサービスを提供し、導入メリットを積極的に打ち出すことで、16年度には50億円規模の売上を見込んでいる。

「省エネや環境保護などの分野で培っていたノウハウを生かし、自然冷媒市場でもトップクラスのシェアを目指します」（富樫社長）

【会社データ問い合わせ先】
本社 東京都千代田区有楽町1-12-1 新有楽町ビル8F
☎03-6269-9660
設立 2011年4月
資本金 6950万円
事業内容 太陽光発電・蓄電システム等の開発・販売
<http://globalink.co.jp>